

製品名: Smad3(4C9)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM17995**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD3
別名	SMAD3
遺伝子 ID	4088.0
SwissProt ID	P84022
免疫原	Smad3 のアミノ酸配列 350~430 の合成ペプチド

背景

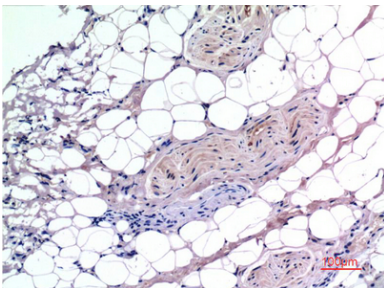
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエ遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫遺伝子「Sma」の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達

経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。このタンパク質は、形質転換成長因子 β によって活性化される転写調節因子として機能し、発癌の制御に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2009 年 4 月]、疾患: SMAD3 の欠陥は結腸直腸癌 (CRC) の原因となる可能性がある [MIM:114500]。、ドメイン: MH2 ドメインはタンパク質の核外輸送を行うのに十分です。、機能: TGF- β (形質転換成長因子) およびアクチビン 1 型受容体キナーゼによって活性化される転写調節因子。 SMAD3 は、受容体制御性 SMAD (R-SMAD) です。、PTM:TGF- β およびアクチビン 1 型受容体キナーゼによってセリンがリン酸化されます。、類似性:dwarfin/SMAD ファミリーに属します。、類似性:1 つの MH1 (MAD 相同性 1) ドメインを含みます。、類似性:1 つの MH2 (MAD 相同性 2) ドメインを含みます。、細胞内局在:リガンド非存在下では細胞質内に存在します。 Smad4 と複合すると核に移行します。、サブユニット:HGS と相互作用します。 TGF- β に応答して NEDD4L と相互作用します。 TTRAP と相互作用します (類似性による)。 SARA (受容体活性化のための SMAD アンカー) と相互作用し、別の SMAD3 および co-SMAD である SMAD4 と三量体を形成します。 JUN/FOS、ビタミン D 受容体、ホメオボックスタンパク質 TGIF および TGIF2、PEBP2- α C サブユニット、CREB 結合タンパク質 (CBP)、p300、SKI、SNON、ATF2、SMURF2、AIP1、DACH1、TGFB111 と相互作用する。 AIP1、ACVR2A、ACVR1B、SMAD3 からなる複合体の一部である。 TGF- β 添加により、SMAD2 および TRIM33 との複合体を形成する。 SMAD2 および TRIM33 と相互作用する。 SMAD3、Ran、XPO4 との複合体を形成する。 XPO4 と相互作用する。 LBXCOR1 および CORL2 と相互作用する。

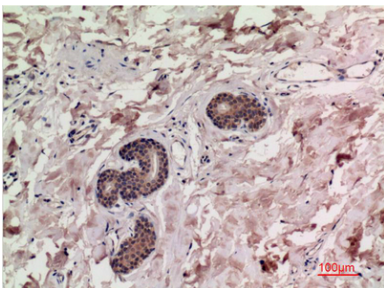
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;WNT;WNT-T CELLTGF-beta;Adherens_Junction;がんにおける経路;結腸直腸がん;膵臓がん;慢性骨髄性白血病;

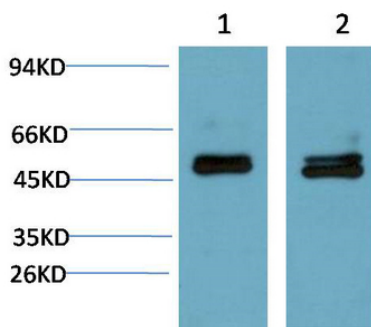
画像データ



1:200 に希釈した Smad3 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学分析。



1:200 に希釈した Smad3 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。



1) マウス脳組織溶解物、2) ラット脳組織溶解物の 1:2000 希釈 Smad3 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。